

神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年4月25日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 47 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北7, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 16週

平成30年4月16日 ~

平成30年4月22日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	1	2	5		5	8	8	31	13	73		2	1	4	3		4	2	8	1	3	9	10	4	6	7	4	5		

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~					
RSウイルス感染症																													
咽頭結膜熱	2	1				1	1			5		1	3									1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	2	2	4		2	3	10	32					1	5	5	7	4		1	7							2
感染性胃腸炎	4	4	11	5	18	25	38	55	11	171	2	7	25	18	17	19	16	14	16	5	4	8	6						14
水痘	4			1			1	5	1	12				2	2	1	1		1	1	1	2							1
手足口病										0																			
伝染性紅斑				1			1	1		3					1			1					1						
突発性発疹	2	3	1		4		3	1	2	16		3	9	2	2														
ヘルパンギーナ								1		1			1																
流行性耳下腺炎	1						1		3	5					1		1	1	1			1							

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎									1	1																			1
流行性角結膜炎	4		2		1	1				8														1	3	3		1	

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症2例:1歳 男女
○ヒトメタニューモウイルス1例:1歳 女
北区○ヒトメタニューモウイルス1例:1歳 男
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:年齢性別不詳
西区○アデノウイルス感染症1例:年齢性別不詳
○ヒトメタニューモウイルス1例:2歳 女

【基幹定点(市内 3ヶ所)からの報告】

ロタウイルス胃腸炎2例:0歳11か月 男、11歳 女

【週報担当者からのお知らせ】

ゴールデンウィークに伴い、来週の週報は、お休みさせていただきます。
また、定点医療機関におかれましては、休診前に週報をご報告いただきますよう、お願いします。

【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ: 今週のインフルエンザ患者の報告は、定点あたり1.6人(先週0.7人)と少し増加しました。

【行政検査情報】※行政検査: 公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

○修飾麻しん(五類感染症)疑い 14歳 男 検査結果:PCR陰性のため発生届出取下げ
・4月上旬に沖縄へ旅行 ・症状:発熱 ・ワクチン接種歴2回 ・麻しん患者との接触歴不明

○麻しん(五類感染症)疑い 25歳 女 検査結果:PCR陰性のため発生届出取下げ
・症状:発熱、鼻汁、発疹 ・ワクチン接種歴不明 ・麻しん患者との接種歴不明 ・海外渡航歴、沖縄滞在歴なし

【麻しんについて】

沖縄県で麻しん患者の発生が続いています!(平成30年4月24日現在 70名)
また、3月末から4月初めに沖縄に滞在していた愛知県在住の方が麻しんの診断を受け、その後、愛知県内で7名(4月24日現在)の患者が発生しています。現在、神戸市で患者発生はありませんが、ゴールデンウィークで人の移動の増加が予想されます。麻しんの症状を疑う場合は、事前に医療機関に連絡し、速やかに受診しましょう。

[麻しん\(はしか\)について 神戸市ホームページ](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

ゴールデンウィークを迎え、野外活動をする機会が増えると思います。野外に生息する蚊やダニは、感染症を媒介することがあります。特にマダニは、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)等の感染症を媒介します。数日~10日かけて皮膚に咬着、吸血し、数日~2週間後に、発熱・発疹等の症状が現れます。全国の草むら、やぶ、森林などに生息し、1年を通して活動していますが、気温が15度以上になる4月~10月に活動が盛んになります。野外活動時には、肌の露出を少なくし、服の上や肌の露出部分に、虫よけ剤を噴霧しましょう(子どもへの使用は、使用上の注意をよく読んでください)。野外活動後は、すぐに入浴し、頭や体をよく洗いましょう。マダニが肌についていた場合は、無理に取り除こうとせず、皮膚科などの医療機関を受診しましょう。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2018年4月25日作成

全数把握対象感染症発生状況 (二類感染症 結核)

結核届出患者数は8人(うち潜在性結核感染症2人)です。

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 細菌性赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	40代	-	2018年4月11日	2018年4月13日	sonnei (D群)	便培養法	なし	不明	第13週報告患者の同居者

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	不明	2018年4月18日	2018年4月18日	晩期顕症梅毒	RPRカードテスト 自動化法 TPHA法	眼症状	性的接触	-
男	40代	2018年2月20日	2018年4月16日	2018年4月16日	晩期顕症梅毒	RPRカードテスト TPHA法 髄液RPR定量	丘疹性梅毒疹 神経症状	同性間性的接触	-

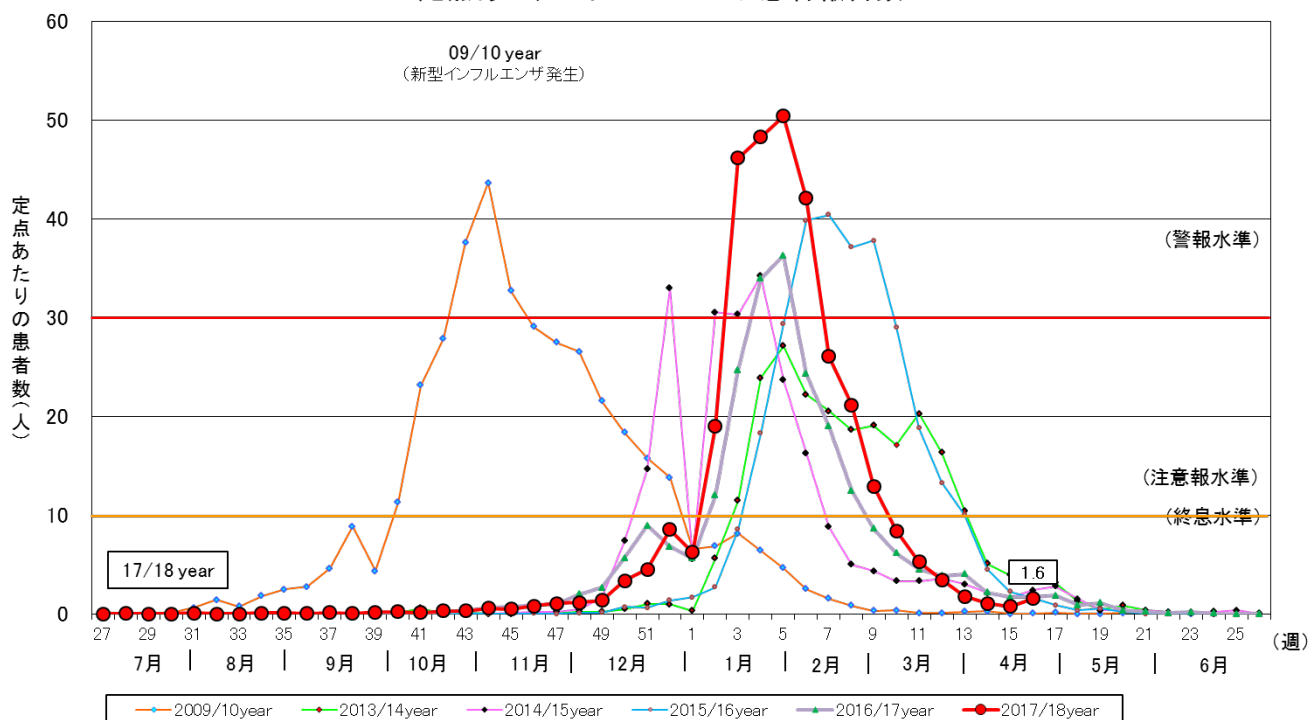
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0~4歳	2018年3月26日	2018年4月2日	2018年4月23日	-	ペア血清で抗体価の 有意上昇	持続する咳 夜間の咳き込み 呼吸苦、嘔吐 スタックート 白血球数増多	不明	ワクチン接種歴あり (3回)

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス (H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨	4歳11ヶ月男(4/9採取、40.1℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
A型インフルエンザウイルス (H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨	9歳女(4/2採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	中央	13歳女(4/2採取、39.1℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	須磨	60歳女(4/5採取、38.7℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)、家族内発生
	鼻腔ぬぐい液	兵庫	1歳8ヶ月男(4/11採取、39.7℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)、通っている保育園で複数の患者
ヒトメタニューモウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨	0歳9ヶ月男(4/10採取、発熱なし、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症疑い)
	鼻腔ぬぐい液	北	0歳11ヶ月男(4/12採取、38.3℃、ヒトメタニューモウイルス感染症)
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	中央	2歳10ヶ月女(3/17採取、38℃、インフルエンザ疑い)
A群溶連菌	咽頭ぬぐい液	垂水	12歳女、発熱(39.1℃)、上気道炎、咳嗽、頸部リンパ節腫脹、T型別:1型、薬剤感受性試験:PCG、ABPC、CTRX、CFPM、MEPM、CLDM、VCM、LVFX、GFLX:感受性、CAM、AZM:抵抗性

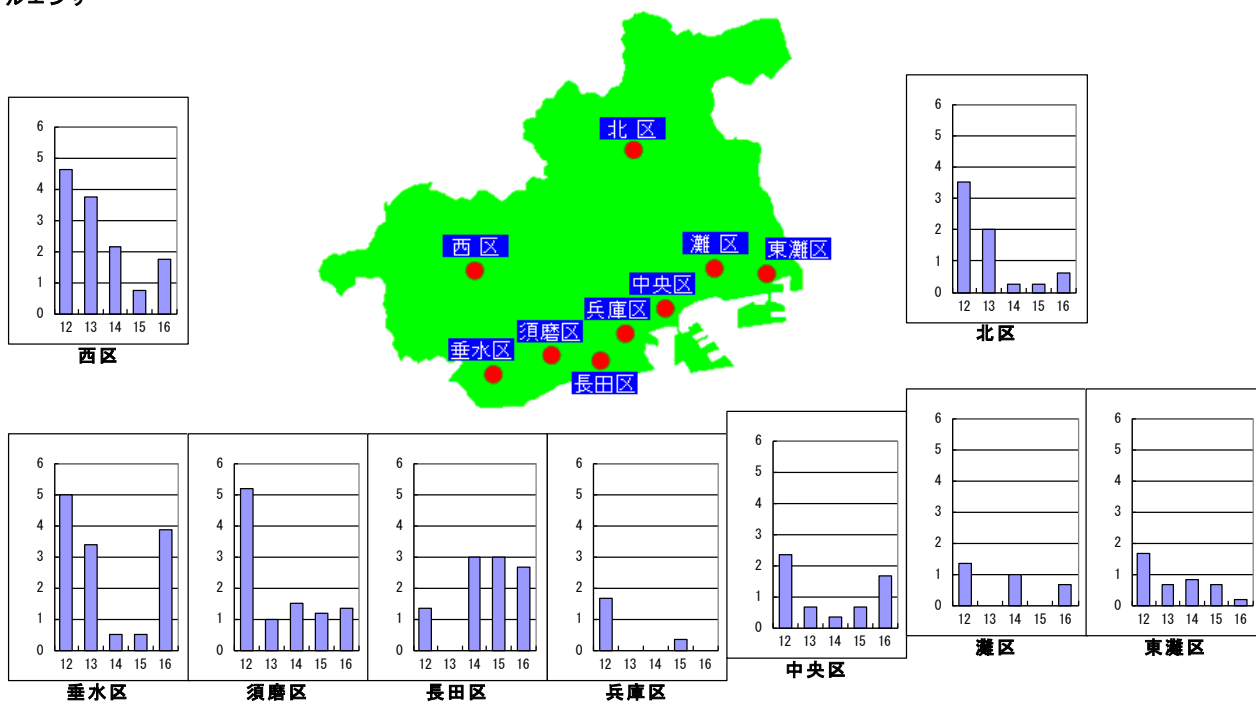
定点あたりのインフルエンザ患者報告数



疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

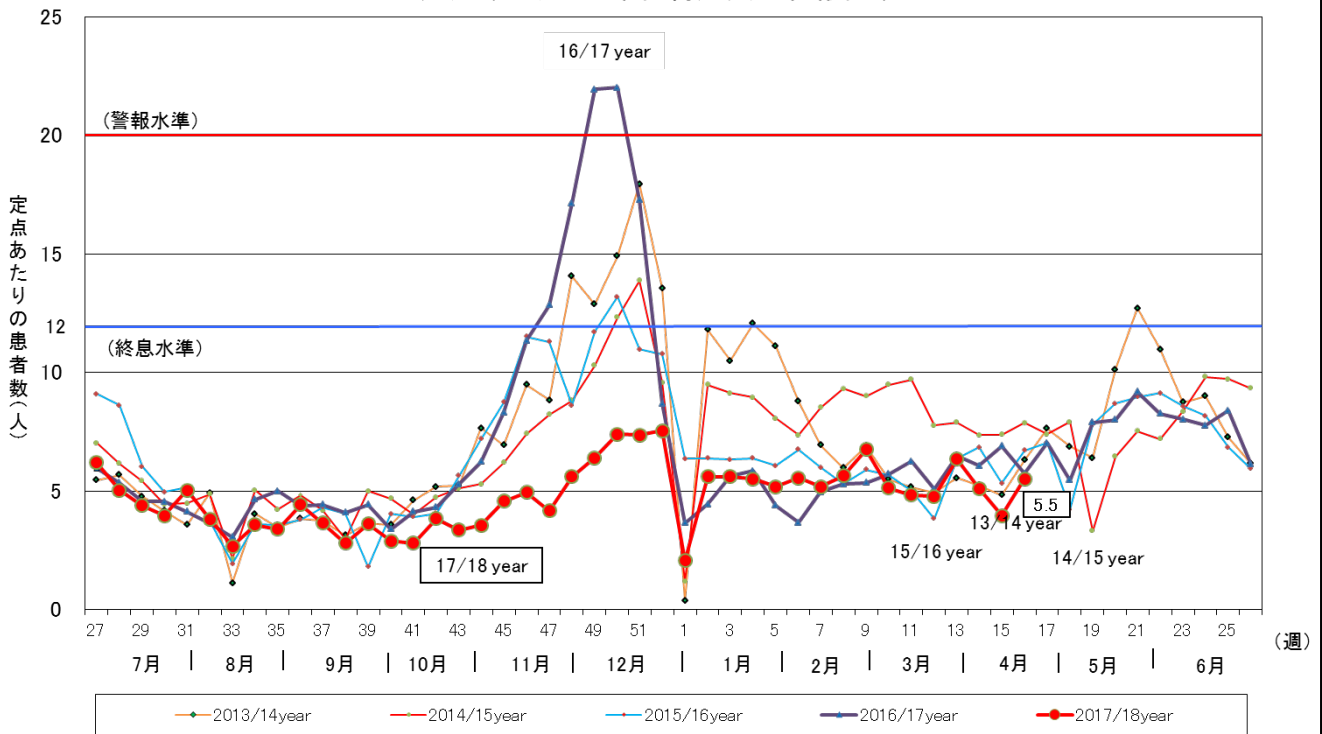
第 12 週 平成30年3月19日 ~ 第 16 週 平成30年4月22日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



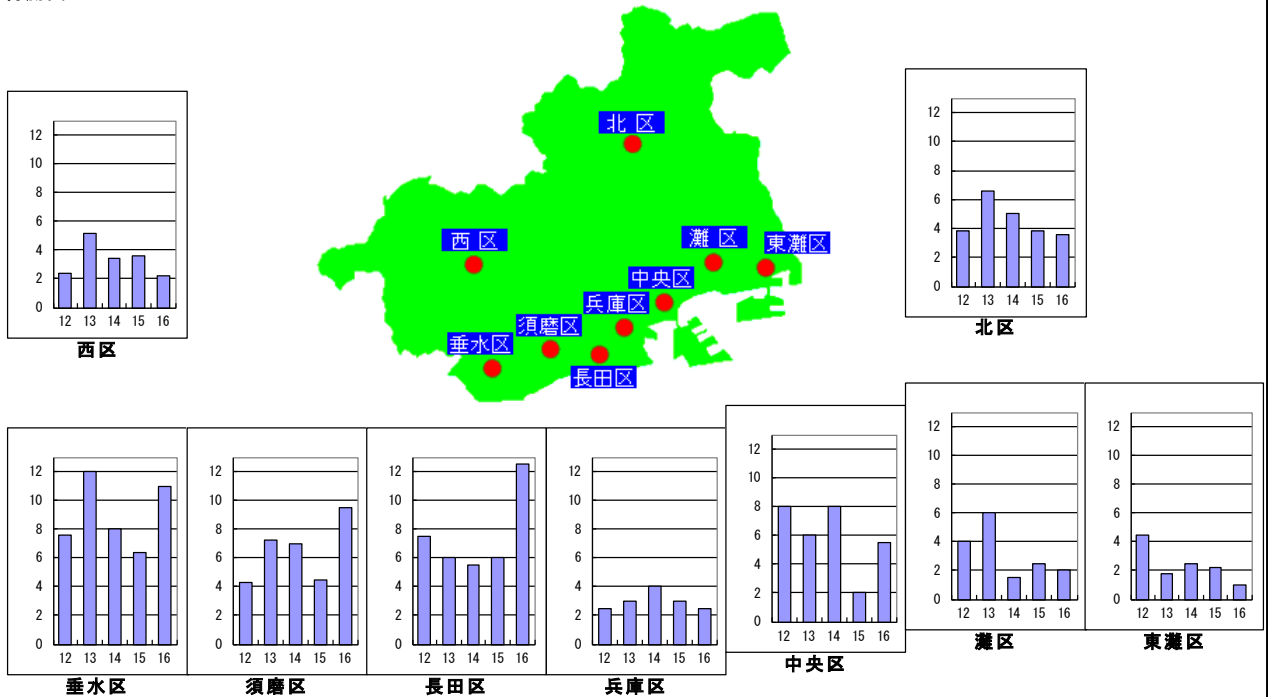
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 12 週 平成30年3月19日

~

第 16 週 平成30年4月22日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。